

アメリカ合衆国バーモント州にてカルバン・クーリッジ元大統領就任 100 周年記念式典 に参加しました (2023/8/2-3)

テーマ：関東大震災、カルバン・クーリッジ大統領、日米関係、国際防災、歴史学
会場：アメリカ合衆国 バーモント州 プリマスノッチ

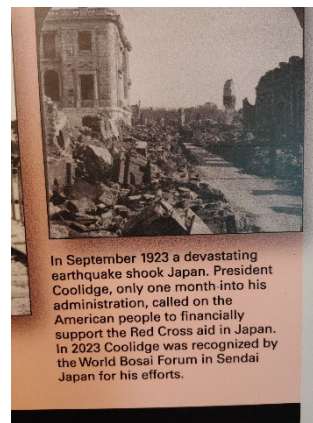
1923 年関東大震災の際、海外の多くの国々から、被災した日本へ支援が寄せられました。第 30 代米国大統領に就任したばかりのカルビン・クーリッジ氏のもと、1200 万ドルの国際支援が行われたのはその国際支援の代表例です。このたび、関東大震災から 100 年のタイミングで、当研究所の小野裕一教授（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）、川内淳史准教授（歴史文化遺産保全学分野）、中鉢奈津子特任准教授（広報室）、吉野賢世界防災フォーラム事務局長、小野天椰共同研究員（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）からなる研究チームは、関東大震災に関する米国からの国際支援と日本からの答礼に関し、国際防災・歴史学の視点から学際的に取り組む研究に着手しました。

2023 年 8 月 2～5 日、カルバン・クーリッジ大統領財団は、アメリカ合衆国バーモント州プリマスノッチにあるカルバン・クーリッジ大統領州立史跡において、クーリッジ元大統領の就任 100 周年記念式典および関連催事を開催しました。この記念式典には、同研究チームメンバーも出席し、8 月 3 日には「Special Presentation: Coolidge and the 1923 Tokyo Earthquake」と題したセッションにおいて小野裕一教授が登壇し、ジェームズ・ダグラス元バーモント州知事とともに、1923 年当時のアメリカから日本への支援や今後の国際防災のあり方について話し合い、聴衆と共有しました。このセッションでは、クーリッジ大統領の子孫が保管していた、当時日本から米国へ送られた関東大震災支援に対する感謝状を冊子にまとめたもの（計 3 冊）も公開されました。

このセッションの聴衆の多くは記念式典への参加者でした。聴衆から小野教授へ、1923 年関東大震災の支援について初めて知ったという感想も含む、多くのコメントや質問が寄せられました。



小野教授と
ジェームズ・ダグラス元バーモント州知事



カルバン・クーリッジ大統領州立史跡
における関東大震災関連展示

文責：小野裕一（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）、
川内淳史（歴史文化遺産保全学分野）、
中鉢奈津子（広報室）、
吉野賢（世界防災フォーラム事務局）、
小野天椰（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）